

5 本 時 （ 3 年： 5 / 9 4 年： 5 / 12 ）

(1) ねらい

長方形の中に4辺の長さの等しい形があることを知り、正方形の定義を理解することができる。

二等辺三角形や正三角形の角の大きさを調べ、二等辺三角形や正三角形の特徴を理解することができる。

(2) 評価規準

正方形の辺をいろいろな方法で調べ、定義を正しく理解することができる。
(知識・理解)

二等辺三角形や正三角形を折る、写し取る、裏返す、回すなどして、角の性質を正しく理解することができる。
(知識・理解)

(3) 指導に当たって

ア 3年生は、前時の学習（直角を観点とした分類をし、長方形の定義を知る活動）で重点を置いた指導を行い、終末段階で次時のめあてを立てておく。ずらしを行うことで、3年生は、すぐに調べる活動から学習が始められるようにし、4年生の角を調べる活動に重点を置いた指導を行いたい。その際、3年生は、間接指導の時間帯が長くなるので、学習の手順と見通しをしっかりと把握させた上で、主体的に学習が進められるようにしたい。

イ 間接指導時に、子どもたちが主体的な学習を進めるために「わたる」前の直接指導時に、学習内容や解決の見通しをしっかりと把握させた上で、その内容を小黒板にまとめ、掲示したり、個々の学習状況を確実に見取る観点を明確にし、それに応じた個別指導を行ったりしたい。また、直接指導時においても、教材・教具やヒントカードの工夫など、子どもたちが自力で解決できるような手だてを工夫したい。

ウ 両学年ともにガイド学習を位置付け、ガイド役には、事前に学習の進め方を指導しておきたい。また、授業中においても、子どもたちの学習状況に応じて、ガイド役には、指名する子どもや話合いの内容などを伝え、効果的な学習が進められるようにしていきたい。

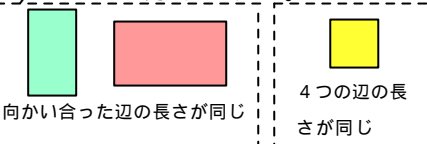
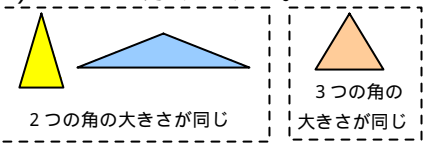
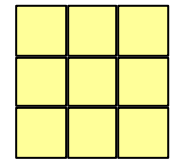
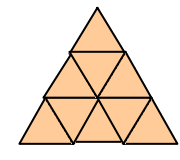
エ 長方形と正方形の違いをとらえさせるために長さを測ったり、折ったり回したりするなどの操作活動を通して、自分なりの方法で解決させたい。また、辺の長さに着目させるために同じ長さの辺に同じ色をつけるなどして認識しやすくさせたい。

オ 早く終わったら長方形や正方形を使ったパズルゲームをし、活動を通して正方形の定義をしっかりとらえさせたい。

エ 二等辺三角形や正三角形の角の性質をとらえさせるために、三角形を折る、写し取る、裏返す、回すなどの操作活動を通して、自分なりの方法で解決させたい。また、角の大きさに着目させるために、同じ大きさの角には、同じ色をつけるなどして認識しやすくさせたい。分度器を使う場合、正しく測れているかどうかを確かめ、必要に応じて個別に指導したい。

(4) 展 開

指導上の留意点（評価）	主な学習活動（第3学年）	過 程	位 置 / 時 間	過 程	主な学習活動（第4学年）	指導上の留意点（評価）
○ 4年生の前時の学習内容を知り、本時の学習活動の見通しをもたせる。	前時の学習活動を想起させるとともに本時の学習内容の見通しをもたせるために同時導入を行い、学習への意欲を高めさせる。					
	1 学習課題を知る。				1 学習課題を知る。	○ 3年生の前時の学習内容を知り、本時の学習活動の見通しをもたせる。
	図形のひみつをさぐる。					
	2 めあてを確認する。				2 めあてを設定する。	
長方形の辺の長さを調べてなかま分けしよう。		つかむ		つかむ	二等辺三角形と正三角形を角の大きさでなかま分けしよう。	

指導上の留意点(評価)	主な学習活動(第3学年)	過程	位置/時間	過程	主な学習活動(第4学年)	指導上の留意点(評価)
- 同じ長さの辺には同じ色をつけることで、辺の関係が分かるようにしておく。 - 解決の見通しをもてたか確認をする。 (ワークシート)	3 解決の見通しをもつ。 (1) 解決方法の見通しをもつ。 ・ 四角形の紙を折って重ねる。 ・ 四角形の紙を回して重ねる。 ・ 辺の長さを測る。 (2) 学習の手順を確認する。	見通す		見通す	3 解決の見通しをもつ。 (1) 解決方法の見通しを話し合う ・ 三角形の紙を折って重ねる。 ・ 三角形の紙を裏返して重ねる。 ・ 三角形の紙を回して重ねる。 ・ 角の大きさを分度器で測る。 (2) 学習の手順を確認する。	- どのような解決方法があるのか、実際に操作を試しながら考えさせる。 - 同じ大きさの角には、同じ色をつけることで角の大きさの関係が分かるようにしておく。
- 解決に要する時間や、解決結果をまとめる手順等を小黒板にまとめ、掲示しておく。 【評価と手だて】 - 作業の遅れている子どもがいたらヒントカードを与えたり助言したりする。 - 調べ方の説明 - ボードへのまとめ方	4 自力解決をする。 (1) なかま分けをする。  (2) 発表ボードに結果を書く。 (3) 早くすんだら、ボードを前にはり、ほかのやり方で調べる。 (4) 自分の考え方と友だちの考え方を比べ、分類する。	調べる		調べる	4 自力解決をする。 (1) なかま分けをする。  (2) 発表ボードに結果を書く。 (3) 早くすんだら、ボードを前にはり、他のやり方で調べる。 (4) 自分の考え方と友だちの考え方を比べ、分類する。	- 解決に要する時間や、解決結果をまとめる手順等を小黒板にまとめ、掲示しておく。 【評価と手だて】 - 戸惑っている子どもには、ヒントカード与えたり、助言をしたりする。 - 紙の操作の仕方 - 分度器の使い方 - ボードへのまとめ方
- ガイド役の進行で進める。 - 準備の確認 - 発表者の指名 - 意見・質問 長方形は、向かい合った辺の長さが同じである。また、4つの辺の長さが同じ四角形を正方形という。	5 解決結果を発表し、話し合う。 ・ 向かい合った辺の長さが同じである。 ・ 4つの辺の長さが同じものがある。 6 学習のまとめをする。	練り上げる		練り上げる	5 解決結果を発表し、話し合う。 ・ 解決結果を発表し合う。 ・ 質問や感想などを発表する。 6 学習のまとめをする。 二等辺三角形では、2つの角の大きさが同じである。正三角形では、3つの角の大きさが同じで、角度はすべて60°である。	調べた方法と結果を分かりやすく発表できるようにする。
- パズルの解き方を確認してから取り組ませる。 - 正方形ができる場合、○の中の数字がいくつの時か考えさせる。	7 パズルゲームをする。  (正方形のマスを長方形や正方形に分けよう。)	練習する		練習する	7 算数パズルをする。  (この中に正三角形は、いくつあるだろうか。)	- ガイド役の進行で進める。 - 正三角形の性質を考えて、もれなく数えさせる。 - 早くすんだら、正三角形を1段増やして考えさせたり、分からない子へ助言させたりする。
- 自己評価カードに記入させる。 - 学習の成果を異学年にも知らせ称賛を与える。	8 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。 お互いの学習内容を知らせ、三角形も四角形も辺の長さや角の大きさに着目するとさらになかま分けできることを知り、図形を見る観点を広げる。	まとめ		まとめ	8 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。	- 自己評価カードに記入させる。 - 学習の成果を異学年にも知らせ称賛を与える。